

コミュニケーション英語Ⅱ

Revised ENGLISH NOW English Communication II

年間指導計画案

1. 到達目標

- 英語を聞いたり目的に応じた読み方をするにより、生徒にとって身近な話題や生徒の教養を高める分野に関する情報を得たり、相手の意見や理由を理解する力をつけさせる。
- 基礎的な英語を使って、話し合ったりまとまりのある文章を書いたりする力をつけさせる。これにより、情報や自分の考えを相手に適切に伝えるコミュニケーション能力を育成する。

2. 学習計画および評価方法

(1) 年間学習計画など

学期	月	学習内容とねらい (配当時数) 計 110 時間	備考 (学習活動の特記事項)	考查範囲
第 1 学期	4 月	Lesson 1 My Hometown (6) <題材> 春香と ALT のベーカー先生がベーカー先生の故郷について話し合う。 <機能・表現> 事物を説明, 紹介する表現 <言語材料> 現在完了進行形	・自分の住んでいる町や行きたいところを紹介する。また、各自の趣味や得意なことなども紹介する。	第 1 学期中間考查
		Lesson 2 Eekanji (6) <題材> アルファベットと漢字を組み合わせた書道アート「英漢字」。漢字を通して日本文化について考える。 <機能・表現> 事物を説明, 紹介する表現 <言語材料> 過去完了形	・漢字の表す意味を英語で説明する。また、アルファベットを使って、漢字を表現してみる。また、日本の魅力をプレゼンテーションで紹介する。	
	1 月	場面で理解 1 命令文 (2) これまでに学習した「命令文」が、使用される場面によって異なる機能を持つことを理解する。	・命令文がどのような働きをしているか、場面や状況を話し合う。また、ペアやグループでオリジナルの場面を作り発表する。	
	5 月	Lesson 3 A Dog's Tale (6) <題材> 犬に本を読んであげたら…。犬に本の読み聞かせをするアメリカの図書館の取り組みについて知る。 <機能・表現> 説明や描写する表現 <言語材料> SV (知覚動詞) OC	・介助犬の図書館での役割について知る。また、いろいろな場面での介助犬の活躍について意見交換する。	
Reading 1 Why Did Grandpa Become a Ghost? (7) <題材> 亡くなったおじいちゃんがおばけになってエリックのもとに現れる。エリックに伝えたかったことは何か？ <機能・表現> 心情や気持ちを理解したり、想像したりする表現 <言語材料> 復習		・内容をイメージできるように、グループで音読する。また、物語の続きや登場人物の心情についてグループで話し合う。		

第 1 学 期	6 月	Let's Communicate 1 必要な情報を集めよう (2) 沖縄への修学旅行での班別自由行動のコースを決定するのに必要な情報を、スキミングやスキミングを使って読み取り、情報交換を行う。	・英語のパフレットを用い、グループで情報交換を行う。得た情報をもとに、自分のしたいことについて発表する。	第 1 学 期 期 末 考 査
		Lesson 4 Wonders of Japan (6) <題材> 外国人旅行者が日本に来て驚いたことや感心したことは何かを知る。 <機能・表現> 説明したり、理由を述べたりする表現 <言語材料> It is ~ that ...	・文化が異なると、当然と知っていることに驚いたり、感心したりすることがある。外国人が不思議に思うことや魅力に感じることにについて意見交換する。	
		Lesson 5 Personal Space (6) <題材> 話す相手との心地よい距離とは？ どんなどきに近く、どんなどきに遠いのか考える。 <機能・表現> 考えや気持ちを伝える表現／比べる・断定を避ける言い方 <言語材料> 関係代名詞 what	・話す相手との距離の取り方が相手との関係や文化によって違うことを知る。心地よい距離についてグループで話し合う。	
		場面で理解2 疑問文 (2) これまでに学習した「疑問文」が、使用される場面によって異なる機能を持つことを理解する。	・疑問文がどのような働きをしているか、場面や状況を話し合う。また、ペアやグループでオリジナルの場面を作り発表する。	
【課題・提出物など】 次のテーマについての「スピーチ原稿」、または「英作文」を提出させる。 ①自分の住んでいる町（行きたいところなど） ②介助犬の役割について（要約文） ③外国人に紹介したい日本の文化や伝統				
【第1学期の評価方法】 定期考査のほかに、課題（提出状況と内容）、授業への意欲、授業中の発言や発表の状況などを加味して評価する。スピーチや英作文の評価も入れる。積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲や、標準的な発音で英語を話そうと努力しているかどうか（発表、音読）も評価の観点となる。ペアまたはグループでお互いに学び合い、作品を協力して作り上げる協調性や積極性も加味する。				
第 2 学 期	9 月	Lesson 6 Rakugo Goes to the U.S. (6) <題材> アメリカ人の女子高生ジョイスが日本の伝統芸能の「落語」を見て、おかしかったことや驚いたことは何かを考える。 <機能・表現> 描写する表現／驚く気持ちを伝える表現 <言語材料> SV（使役動詞）OC	・落語を通して、外国人が日本文化のおもしろいと思う点について、グループで話し合う。	第 2 学 期 中 間 考 査
		READ and ACT Tokisoba — 時そば (6) Lesson 6 で触れた日本の伝統芸能である落語の「時そば」。場面や状況を思い浮かべながら、落語のおもしろさを味わう。 <言語材料> 復習	・日本の伝統芸能の落語のおもしろさを英語で味わう。また、グループで内容をイメージしながら音読し、発表する。	

第 2 学 期	10 月	Let's Communicate 2 乗り換え案内をしよう (2) 電車の乗り換え案内に使う慣用表現を学ぶ。行き先を尋ね、相手の言うことを聞き、確認する。	・インフォメーション・ギャップを使い、お互いに役割を交代して表現に慣れる。	第 2 学 期 中 間 考 査
		Lesson 7 The Kizuna Bridge (6) <題材> 日本の援助によって建てられたカンボジアの「きずな橋」が現地 の生活にどのような影響を与え、人々にどのように受け止められている のかを理解する。 <機能・表現> 説明したり、理由・結果を述べたりする表現 <言語材料> 関係代名詞（非制限用法）	・世界各国で行っている日本の ODA の活動や効果などについて調べ、発表する。	
		場面で理解3 現在進行形 (2) これまでに学習した「現在進行形」が使用される場面によって異なる機能を持つことを理解する。	・現在進行形がどのような働きをしているか、場面や状況を話し合う。また、ペアやグループでオリジナルの場面を作り発表する。	
	11 月	Lesson 8 Ken's Everlasting Challenge (6) <題材> 俳優渡辺謙の挑戦に満ちた俳優人生について読み、どのように渡 辺謙さんが困難を克服し、成功したかを理解する。 <機能・表現> 説明したり、紹介したりする表現 <言語材料> 分詞構文	・今までに挑戦したことや、これから挑戦したいことについて話し合う。また、困難を克服し、成功するには何が必要かを話し合う。	第 2 学 期 期 末 考 査
		Lesson 9 The Zero Emissions Project (6) <題材> 山形県のある高校が挑戦した究極のエコカー作り。成功に至るま での過程と、それを通して生徒たちが学んだことを考える。 <機能・表現> 説明したり理由を述べたりする表現／考えや意図を伝える 表現 <言語材料> 仮定法過去	・「究極のエコカー作り」の話を通して、身近な環境問題にどのように取り組んでいるか（または、取り組まなければならないか）グループで話し合う。	
	12 月	Let's Communicate 3 レストランで注文しよう (2) レストランで料理を注文する際に使う基本表現を理解し慣れる。ウェイター[ウェイトレス]と客に分かれて対話練習を行う。	・インターネットで実際のメニューをダウンロードし、交代で役割練習をする。	
場面で理解4 仮定法 (2) これまでに学習した「仮定法」が使用される場面によって異なる機能を持つことを理解する。		・仮定法がどのような働きをしているか、場面や状況を話し合う。また、ペアやグループでオリジナルの場面を作り発表する。		
【課題・提出物など】 次のテーマについての「スピーチ原稿」、または「英作文」を提出させる。 ①日本の ODA の活動（活動にいたった問題点や活動の効果） ②自分が挑戦してみたいこと（困難をどのように克服したか） ③身近で取り組んでいる環境問題（今後取り組みたい環境問題）				
【第2学期の評価方法】 定期考査のほか、課題（提出状況と内容）、授業への意欲、授業中の発言や発表の状況などを加味して評価する。スピーチや英作文の評価も入れる。積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲や、標準的な発音で英語を話そうと努力しているかどうか（発表、音読）も評価の観点となる。ペアまたはグループでお互いに学び合い、作品を協力して作り上げる協調性や積極性も加味する。				

第 3 学 期	1 月	Reading 2 Why Don't You Study a Foreign Language? (8) <題材> 世界には言語を複数使う国が多く、1つの言語しか使っていない日本のような国は少数派である。複数言語を学ぶことの利点について考える。 <機能・表現> 未知の語の意味を推測したり、背景となる知識を活用しながら聞いたり、読んだりする。 <言語材料> 復習	<ul style="list-style-type: none"> ・母国語以外の言語を学ぶ利点について意見を交換する。また、複数言語を学ぶことの利点について、簡易ディベートに挑戦してみる。 	学 年 末 考 査		
		Further Activities Lesson 1 (4) Lesson 1に関連し、アメリカ合衆国の州についての英文を読んで、とりあげられた州にどのような特徴があるかを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・アメリカのほかの州についてもペアまたはグループで調べ、発表する。 			
	2 月	Further Activities Lesson 2 (2) Lesson 2に関連し、日本語の文字のシステムについての英文を読んで、日本語は複数の文字で構成されていることを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアまたはグループになり、日本のものを外国人に紹介する設定で発表する。 			
		Further Activities Lesson 3 (2) Lesson 3のACTIVITYで聞いた英文を、文字を見ながらもう一度聞き、読書介助犬について理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> ・読書介助犬が実際に側にいたらどういう気持ちになるかを話し合う。 			
		Further Activities Lesson 5 (4) Lesson 5に関連し、世界のあいさつのしかたについての文章を読んで、あいさつが文化によって異なることを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ以外で、文化が異なると起こる動作や仕草などの違いについて話し合う。 			
		Further Activities Lesson 8 (4) Lesson 8に関連し、渡辺謙さんが演じたミュージカル『王様と私』のあらすじを読んで内容を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・このミュージカルについての意見や感想、また好きな場面などを話し合う。 			
	3 月	Further Activities Lesson 9 (4) Lesson 9に関連し、米沢工業高校のゼロエミッションプロジェクトについてのウェブサイトの英文を読み、彼らのプロジェクトについて理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットなどで環境問題に取り組んでいるほかの活動を調べ、発表する。 			
		つなぎことば (1) 英語の文章で使われる代表的なつなぎことばを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・意見などを深めることができる文と文をつなぐ句の働きを理解する。 			
	【課題・提出物など】 次のテーマについての「スピーチ原稿」、または「英作文」を提出させる。 ①複数言語を学ぶ利点（要約文）（学んでみたい言語） ②Further Activitiesの中から自分の興味のある話題（発展して調べた内容）					
	【第3学期の評価方法】 定期考査のほかに、課題（提出状況と内容）、授業への意欲、授業中の発言や発表の状況などを加味して評価する。スピーチや英作文の評価も入れる。積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲や、標準的な発音で英語を話そうと努力しているかどうか（発表、音読）も評価の観点となる。ペアまたはグループでお互いに学び合い、作品を協力して作り上げる協調性や積極性も加味する。					
【年間の学習状況の評価方法】 定期考査に加え、授業中の英語学習に対する関心・意欲・態度、英語を理解し表現しようとするコミュニケーションへの姿勢、課題や発表活動への取り組み、標準的な発音で英語を話そうとする努力などを、1, 2, 3学期を通して総合的に評価する。パフォーマンステスト（スピーチ、英作文等）も評価する。						

指導の観点など

<p>確かな学力を身につけさせるための指導の観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> 標準的な発音の英語を十分に聞かせて練習させることで、音声への認識を高めさせる。 音声に注意して音読するだけでなく、聞き手に伝わるように（内容がイメージできるように）音読や暗唱を行う。 基本的な文法事項を確実に身につけさせるために、音声を通してくり返し練習させる。 身近な単語を与え、英語で表現する基礎的な力を身につけさせる。また、口頭でのやりとりのあと、まとまりのある文章を書かせる。 英語で発表する機会を多く与え、英語でコミュニケーションを図ろうとする意欲を育てる。
<p>授業を受けるに当たって生徒に守らせたい事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> 英語学習の基本的習慣をつける。 課題や提出物を提出する。 恥ずかしがらずに積極的に英語を発音する。 基本的な文法事項や基礎的な単語力を身につけるための練習を、音声を通して継続的に行う。 教材の理解と練習に終わることなく、自分の気持ちや考えを積極的に述べるなど、積極的にコミュニケーションを図る努力をする。

(2) 評価の観点、内容および評価方法

評価の観点および内容		評価方法
<p>関心・意欲・態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> 英語に興味・関心を持ち、積極的に授業に参加してコミュニケーションを図ろうと努力しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習活動への参加状況と意欲 課題などの提出状況とその内容
<p>外国語表現の能力</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自分の意見や事実を英語で表現したり、説明したりしようと努力しているか。標準的な発音で英語を話そうと努力しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> スピーチや英作文 授業中の発言や活動への取り組み 英語で自分の考えなどを簡潔に表現
<p>外国語理解の能力</p>	<ul style="list-style-type: none"> 英語を注意して聞いたり読んだりして、相手の考えや文章の内容を的確に理解しようと努力しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 内容理解（概要や要点）の程度 ディスカッションへの取り組み 要約文や感想文
<p>言語や文化についての知識・理解</p>	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活で多く使われる表現を習得しているか。 英文の内容を十分理解し、知識を広げようと努力しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 英語のしくみの理解 使用されていることばの意味や働きの理解 英作文（要約文）の内容